

AKIRA KOBAYASHI

小林章 欧文フォント・ワークショップ

小林章氏が世界各地で開催し、好評を博している欧文フォント・ワークショップを、この秋日本において開催します。
国内待望の企画。少数制でたっぷり時間をかけて行います。ぜひご参加ください。

日時：2009年10月24日 [土]・25日 [日] 2日間

午後12時30分—6時30分（両日とも）*途中30分のティーブレイク

会場：東京工芸大学 中野キャンパス1号館3F ビジュアルコミュニケーションコース PCルーム

定員：16名（先着）

参加料：40,000円（2日間）

主催：NPO法人東京タイプディレクターズクラブ

協力：ライノタイプ社、FontLab Ltd.、東京工芸大学、コニカミノルタ ビジネスソリューションズ（株）

WORKSHOP 2009

参加資格

ご自身でデザインしたフォントのスケッチ（スキャンデータ）または文字のアウトラインを持参いただけます。

パソコン技能としては、「イラストレーターを使えること」を目安とします。

ワークショップで実際に使用するソフトウェアは「FontLab Studio Version 5」です。

2日間の限定使用ライセンスを取得し、ワークショップでみなさまが使用するコンピュータに完備。<http://www.fontlab.com/>

お申し込み・お問い合わせ

お名前・所属（会社・学校）・ご住所・お電話番号を明記の上、「欧文ワークショップ参加申込」のサブジェクト名でメールにてお申し込みください。→info@tdctokyo.org

ワークショップの目標

フォント制作ツールを使用して自分のオリジナルフォントを作る！

実際に手を動かしてフォント制作をすることで、フォントを構成する重要な三要素の習得を目指します。

1

文字を形作る輪郭線、とくに曲線部の描画の高いスキルを習得する。

2

一つの文字が隣の別の文字と隣り合ったときに違和感の生じないよう、統一感や一貫性について配慮する能力を磨く。

3

文字が並んで文章になって初めてフォントとして機能するというを理解し、単語を組んだときのバランスを見る眼を養う。

ワークショップ開催に寄せて——小林章

曲線の出し方や文字間の設定など細かい部分の変更によって驚くほど表情が変わったり、読みやすくも読みにくくなることを体験し、フォントづくりの面白さを知っていただけます。書体デザイナーはもちろん、グラフィックデザイナーの日頃のデザインワークにも活かすことができるでしょう。またフォント制作は常に試行錯誤の繰り返しで、完成までには膨大な時間と忍耐が必要です。その一端を体感していただくことで、タイプデザイナーという職業についても一層ご理解いただけるものと思います。ワークショップを世界各地で開催する背景には、フォントデータの違法コピーの抑止・マナー向上への私の願いもあります。

小林章（Akira Kobayashi） 欧文書体設計家。写研、字工房、タイプバンクを経て1997年にフリーランスの欧文書体設計家として独立し、世界の大手フォントメーカーから欧文書体を発表。本文部門を中心に受賞多数。現在ライノタイプ社タイプディレクターとしてドイツに在住。おもな職務は書体デザインの制作指揮と品質検査、新書体の企画立案など。ヘルマン・ツァップ氏やアドリアン・フルティガー氏など書体デザイン界の巨匠と組んで名作書体の改刻なども手がける。ロングセラーの著書に『欧文書体—その背景と使い方（美術出版社）』『欧文書体2 定番書体と演出法（美術出版社）』がある。

TOKYOTDC

NPO法人 東京タイプディレクターズクラブ

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 東苑ビル701

Telephone 03-5366-2256 Facsimile 03-5269-6667 <http://www.tdctokyo.org>